

加藤道夫 （加藤） 劇作家。大正七年十月十七日福岡縣生れ、昭和二十八年十一月二十一日歿（一九八一—）。昭和十七年渡邊義太郎入塾卒。在學中芥川比呂志等と新演劇研究會を興す。十九年陸軍道義講習員としてニエーギニツの赴任。二十一年歸國し結婚（俳優加藤治子）。翌年長岡輝子等と夢の會結成也、二十四年解散して文藝座に入團。自宅を盗死。

『加藤道夫全集』（昭和二十年九月二十日新潮社）刊。

譯著書、ウイリアム・サローヤン作『君が人生の時』（譯、昭和二十五年四月）二十五日中央公論社）、戯曲『おたけ』（昭和二十六年四月五日、改装再版・六月五日エリイカ）、カミエ作『カリギエウ・誤解』（譯、昭和二十六年十月十五日新潮社）、シヤン・ポーラン編『祖國は日夜のくられぬ』（共譯、昭和二十八年十月二十七日月曜書房）、『中学生のたのみの各作戯曲』（合著・梅田晴夫編、昭和二十七年一月十日宝文館）、岸田國士著『新しき演劇のたのび』（解説、昭和二十七年一月二十日創元社）『創元文庫』）、『おたけ』（昭和二十七年五月十日未來社）『すずい叢書』）、堀田善衛原作『祖國喪失』（脚色、昭和二十七年五月十五日未來社）、『檻樓と寶石』（昭和二十七年十月二十日未來社）、『新選現代戯曲・第五卷』（合著、昭和二十八年一月十日河出書房）、ヤルベエ

・カミエ作『正義の人々』（譯、昭和二十八年二月十五日新潮社）『現代フランス戯曲叢書』）、『シヤン・シロウドウの世界』（昭和二十八年十一月二十日宝文館）



（二十八年）二月十五日新潮社『現代フランス戯曲叢書』）、『シヤン・シロウドウの世界』（昭和二十八年十一月二十日宝文館）

書房「現代芸術選書」(、シニツセ作「マリアンヌの氣紛れ他」一篇)  
(譯、昭和二十九年五月五日岩波書店「岩波文庫」)、  
「かなよなけ」  
(昭和二十一年三月二十日新潮社「小説文庫」)、  
「梅話」(エピソード)  
(昭和二十一年三月二十日新潮社「小説文庫」)、  
「長岡藩士解説」(昭和二十二年一月十五日未來社「未來劇場」)  
等。

文獻、矢代靜「春」旗手たちの青春一時代の加藤道夫・三島由紀夫  
・芥川比呂志(昭和二十年一月二十日新潮社)等。

